

2017年11月17日
第一生命保険株式会社

鉄道・運輸機構が発行するグリーンボンドへの投資について

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の発行するグリーンボンドへの投資を実施しました。

グリーンボンドとは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券は、環境省が2017年3月に策定・公表した「グリーンボンドガイドライン2017年度版¹」への適合性について、初めて環境省からの確認を取得した債券です。

本債券により調達された資金は、都市鉄道利便増進事業(神奈川東部方面線)に充当されます。当事業では、公共交通の拡充を行い、バスや自動車から同路線への旅客の移転を促すことで、二酸化炭素排出量の削減が見込まれています。当社は、本債券への投資を通じて安定収益を確保するとともに、環境問題の解決に繋がる本事業を資金面からサポートし、その進捗状況等を継続的にフォローしていきます。

当社は、引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資²の積極的な拡大に取り組んでいきます。

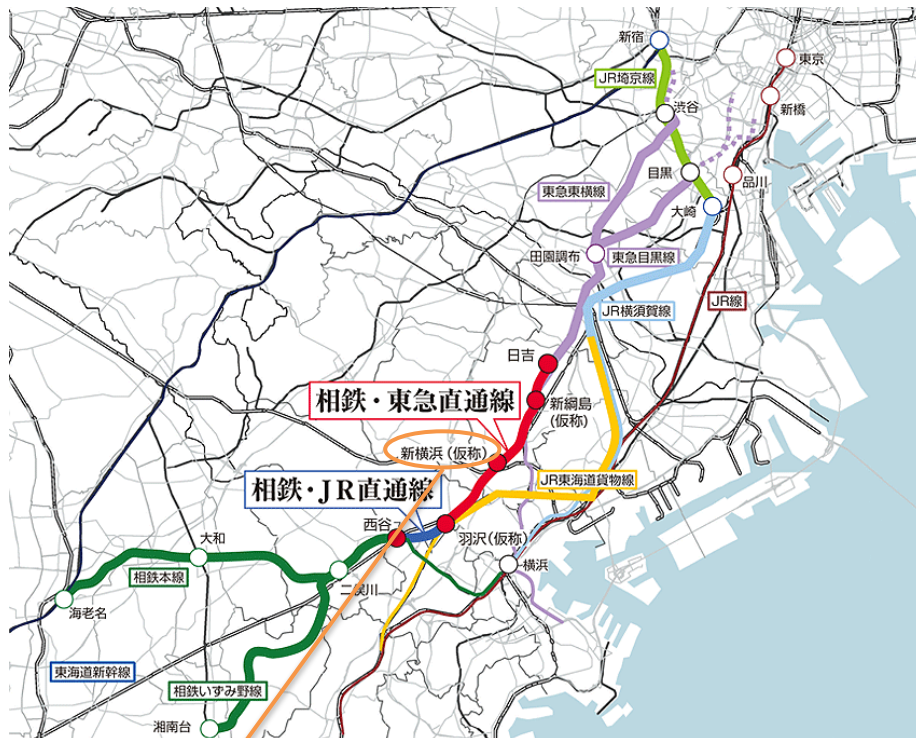
<本債券の概要>

銘柄	第109回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
年限	10年
発行額	200億円
発行日	2017年11月28日

¹ 詳細は、環境省ホームページをご覧ください。 <http://www.env.go.jp/press/103882.html>

² E・S・Gとは、それぞれ Environmental, Social, Governance の頭文字です。当社では、安全性・収益性の視点に加え、社会性・公共性(環境保護や社会貢献、ダイバーシティへの取組み、コーポレートガバナンス等)の視点も盛り込んだ ESG 投資に取り組んでいます。

<神奈川東部方面線 路線概要図>



(提供: 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

<新横浜駅(仮称)イメージ>



(提供: 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)